



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社  
 コード番号 8006 URL <http://www.y-f.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 諸澤 隆芳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 森 雅俊  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 047-433-1212

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	28,041	0.1	329	△21.9	417	△15.2	115	△57.4
23年3月期第1四半期	28,024	△4.6	421	67.8	491	49.5	271	29.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 220百万円 (214.0%) 23年3月期第1四半期 70百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	2.51	—
23年3月期第1四半期	5.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	45,380	21,725	47.1	464.55
23年3月期	45,627	21,876	47.2	467.76

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 21,370百万円 23年3月期 21,517百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	8.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,500	△1.0	850	△8.5	900	△8.9	500	△8.4	10.87
通期	111,500	△0.3	1,950	1.2	2,050	0.8	1,050	4.2	22.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	48,977,231 株	23年3月期	48,977,231 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	2,975,651 株	23年3月期	2,975,238 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	46,001,857 株	23年3月期1Q	46,010,053 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) その他の注記事項	10
(8) 重要な後発事象	10
5. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の日本経済は、本年3月に発生した東日本大震災の影響により生産活動が落ち込み厳しい状況で推移しました。最悪期は脱しつつあると見られるものの、原子力発電所の事故による電力供給不安、放射能災害などにより、先行きは不透明な状況が続くものと思われま

す。食品流通業界におきましては、節約意識の高まりから消費が低迷する中、販売競争は激化しました。また、ビジネスホテル業界におきましては、震災以降、利用客が激減する状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、首都圏を基盤に地域に密着した営業を展開してまいりました。

その結果、当第1四半期の売上高は280億41百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益3億29百万円（前年同期比21.9%減）、経常利益は4億17百万円（前年同期比15.2%減）となりました。また、特別損失に投資有価証券評価損2億13百万円を計上したことなどにより四半期純利益は1億15百万円（前年同期比57.4%減）となりました。

#### 事業別セグメントの概況

##### ①商事部門

商事部門におきましては、震災の影響により一部商品が供給不足となる中、消費者の買い急ぎによる一時的な需要もありましたが、引き続き消費者の低価格志向が強く販売価格が低下するなど、経営環境は厳しい状況にありました。

このような中、商品供給を的確に行う中で、新規取引の開拓に努めてまいりました。

部門別の売上高は、食品では酒類が減少しましたが、加工食品、砂糖、冷凍・チルド商品、菓子のいずれも増加し前年同期を上回りました。業務用商品では小麦粉が価格低下により減少しましたが、油脂、化成品が増加し前年同期を上回りました。飼料畜産では畜産の取り扱い数量が減少しましたが、飼料の価格上昇、販売数量増などにより前年同期並みとなりました。米穀では家庭用精米が増加しましたが、業務用精米、玄米取引が減少し前年同期を下回りました。

その結果、商事部門全体の売上高は272億10百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は4億64百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

##### ②ホテル部門

ホテル部門におきましては、震災の影響による自粛ムードからスポーツ大会、イベント関連の団体客が減少し、また、原発事故の発生により海外からの旅行者も減少しました。ビジネス客はやや回復の兆しが見られるものの、前連結会計年度に千葉、横浜鶴見の2ホテルを閉店したこともあり、売上高は6億42百万円（前年同期比31.5%減）、営業損失は44百万円（前年同期は営業利益44百万円）となりました。

##### ③不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入として売上高は1億89百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は1億59百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少3億33百万円、商品及び製品の増加2億38百万円など流動資産が96百万円減少し、建物及び構築物の減少60百万円、ソフトウェアの減少34百万円など固定資産が1億50百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2億46百万円減少し453億80百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加9億62百万円、短期借入金の減少4億90百万円、未払法人税の減少4億97百万円などにより、前連結会計年度末に比べ96百万円減少し236億55百万円となりました。純資産は、利益剰余金の減少2億52百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億4百万円などにより、前連結会計年度末に比べ1億50百万円減少し217億25百万円となりました。自己資本比率は47.1%となりました。

当期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前純利益1億87百万円、投資有価証券評価損2億13百万円、仕入債務の増減額9億62百万円、法人税の支払額△5億15百万円などにより6億95百万円（前年同期比2億36百万円減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出△40百万円、投資有価証券の取得による支出△51百万円などにより△86百万円（前年同期比2億5百万円減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の純増減額△4億10百万円、長期借入金の返済による支出△1億24百万円、配当金の支払額△3億68百万円などにより△9億35百万円（前年同期比2億30百万円減）となりました。その結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は37億52百万円（前年同期比3億1百万円減）となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,199	3,866
受取手形及び売掛金	12,906	12,819
有価証券	5	5
商品及び製品	1,187	1,425
仕掛品	27	26
原材料及び貯蔵品	355	330
繰延税金資産	131	95
未収入金	2,382	2,508
その他	68	94
貸倒引当金	△107	△111
流動資産合計	21,158	21,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,753	13,661
減価償却累計額	△9,016	△8,985
建物及び構築物(純額)	4,736	4,676
機械装置及び運搬具	1,799	1,821
減価償却累計額	△1,473	△1,495
機械装置及び運搬具(純額)	325	326
土地	10,611	10,606
その他	1,307	1,333
減価償却累計額	△1,061	△1,072
その他(純額)	246	261
有形固定資産合計	15,920	15,871
無形固定資産		
ソフトウェア	147	112
その他	168	165
無形固定資産合計	315	278
投資その他の資産		
投資有価証券	4,307	4,323
長期貸付金	482	477
繰延税金資産	966	882
差入保証金	2,476	2,484
その他	349	339
貸倒引当金	△348	△338
投資その他の資産合計	8,233	8,169
固定資産合計	24,469	24,318
資産合計	45,627	45,380

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,794	15,757
短期借入金	4,676	4,185
未払法人税等	536	39
賞与引当金	96	47
災害修繕引当金	65	29
その他	1,533	1,600
流動負債合計	21,703	21,660
固定負債		
社債	35	35
長期借入金	497	452
退職給付引当金	603	586
役員退職慰労引当金	22	21
負ののれん	20	17
長期未払金	222	222
その他	647	660
固定負債合計	2,047	1,994
負債合計	23,751	23,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,576	5,576
利益剰余金	11,060	10,807
自己株式	△623	△623
株主資本合計	21,611	21,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△94	10
その他の包括利益累計額合計	△94	10
少数株主持分	358	355
純資産合計	21,876	21,725
負債純資産合計	45,627	45,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	28,024	28,041
売上原価	25,170	25,442
売上総利益	2,853	2,599
販売費及び一般管理費	2,431	2,269
営業利益	421	329
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	78	77
その他	29	22
営業外収益合計	114	107
営業外費用		
支払利息	22	14
為替差損	18	3
その他	3	1
営業外費用合計	44	19
経常利益	491	417
特別利益		
投資有価証券売却益	3	—
その他	2	—
特別利益合計	5	—
特別損失		
固定資産処分損	0	1
減損損失	2	4
投資有価証券評価損	53	213
東日本震災損	—	9
特別損失合計	56	229
税金等調整前四半期純利益	441	187
法人税、住民税及び事業税	147	23
法人税等調整額	25	48
法人税等合計	173	72
少数株主損益調整前四半期純利益	268	115
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2	0
四半期純利益	271	115



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	268	115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△197	104
その他の包括利益合計	△197	104
四半期包括利益	70	220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73	220
少数株主に係る四半期包括利益	△2	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	441	187
減価償却費	175	165
減損損失	2	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46	△48
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3	△16
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△6
災害修繕引当金の増減額 (△は減少)	—	△35
受取利息及び受取配当金	△85	△84
支払利息	22	14
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	213
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△230	91
たな卸資産の増減額 (△は増加)	141	△212
その他の資産の増減額 (△は増加)	△119	△157
仕入債務の増減額 (△は減少)	612	962
その他の負債の増減額 (△は減少)	5	94
その他	71	△35
小計	988	1,137
利息及び配当金の受取額	87	87
利息の支払額	△23	△14
法人税等の支払額	△121	△515
営業活動によるキャッシュ・フロー	931	695
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△24	△40
投資有価証券の取得による支出	—	△51
投資有価証券の売却による収入	119	—
その他	23	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	118	△86
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	47	△410
長期借入れによる収入	300	—
長期借入金の返済による支出	△658	△124
配当金の支払額	△368	△368
その他	△25	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△704	△935
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	326	△331
現金及び現金同等物の期首残高	3,726	4,083
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,053	3,752

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	26,895	938	190	28,024	—	28,024
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3	—	9	12	(12)	—
計	26,899	938	199	28,036	(12)	28,024
セグメント利益	464	44	159	667	(246)	421

(注) 1. セグメント利益の調整額△246百万円には、のれん償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△244百万円、その他0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	27,210	642	189	28,041	—	28,041
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	9	11	(11)	—
計	27,211	642	198	28,053	(11)	28,041
セグメント利益	464	△44	159	579	(249)	329

(注) 1. セグメント利益の調整額△249百万円には、のれん償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△249百万円、その他1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) その他の注記事項  
(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(8) 重要な後発事象  
該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## (1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間 (平成22年4月1日から 平成22年6月30日まで)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年4月1日から 平成23年6月30日まで)	前年同四半期比
食品(酒類・飲料含む)	17,734	18,166	102.4
業務用商品	3,801	4,045	106.4
米穀	2,701	2,335	86.5
飼料・畜産	2,658	2,662	100.1
商事部門計	26,895	27,210	101.2
ホテル部門	938	642	68.5
不動産部門	190	189	99.6
合計	28,024	28,041	100.1